



# ユニバーサル構想のさらなる展開

～「ユニバーサル構想」の現在地と今後の方向性～

株式会社ユニリタ  
クラウドサービス事業本部 ITイノベーション部  
部長  
国本 晶

# アジェンダ

## 1. 「ユニバーサル構想」のこれまで、現在地



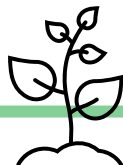
Waha! Transformer Day 2021 「DXを加速するエンタープライズETL」

Waha! Day 2021 「データ連携の先にあるイノベーションの“タネ”」



Waha! Day 2022 「鍵はデータ。結んで始めるイノベーション」

## 2. 今後の方向性



# 今後どんな時代が来る？

**国内IT人材不足**

効率化（データ活用）  
パッケージ活用  
アウトソーシング

**20年を経過する  
基幹システムが  
全体の6割を超  
える**

システム更改／刷新  
クラウドSaaS  
集中→分散に

**リモートワーク**

手動→自動化  
クラウドストレージ  
オンラインスプレッドシート

# イベントでのユニバーサル初発信

全体最適から部分最適 ⇒ 情報システム部ITから事業部ITへ

物（所有・保有）から事（利用）へ ⇒ オンプレからクラウドへ

# イベントでのユニバーサル初発信

エンタープライズ => **ユニバーサル**  
お客様のいろいろな利用形態や働き方、ニーズにあわせて  
Waha!をトランスフォーメーションする。

## クラウド／サブスク シフト

クラウドサービス連携  
セルフサービス商材  
クラウドソリューション商材

## Waha技術者増

お客様、SIパートナー  
デジタルコンテンツ  
ブランディング（認定制度）

# これからのWaha! Transformerは。 (例えば)

バージョンアップはネット経由で自動で？ (xxxx365みたいな)

サポートはコミュニティ？ インシデント購入？

クライアントOSで従量課金？

ダウンロード販売？

ユニバーサル

完全組込み型？

セルフサービス型情報提供？

AI or IoT × Waha! Transformer？

全てWebでどこでもセキュアに利用可能？

事業部の方にも簡単操作？

# Waha! Transformer Day からWaha! Dayへ

「データ活用でビジネス現場にWakuwakuとaha!体験を」

データ活用は大変でしんどい作業ではなくうきうきWakuwaku楽しいものである。  
Wahaを使ってデータ活用のための整備/整理をいつでもどこでも簡単に行えるようにしてaha!体験をビジネス現場にお届けします。

## アハ! 体験 (a-ha! experience) とは —

「わかったぞ」という体験を表す、英語圏で広く使われている言葉であるとともに、人間の脳の不思議な能力を表すキーワードとして、最先端の脳科学で注目されています。「ひらめき」や「創造性」とでも名づけられるような脳の驚くべきはたらきが、アハ! 体験なのです。

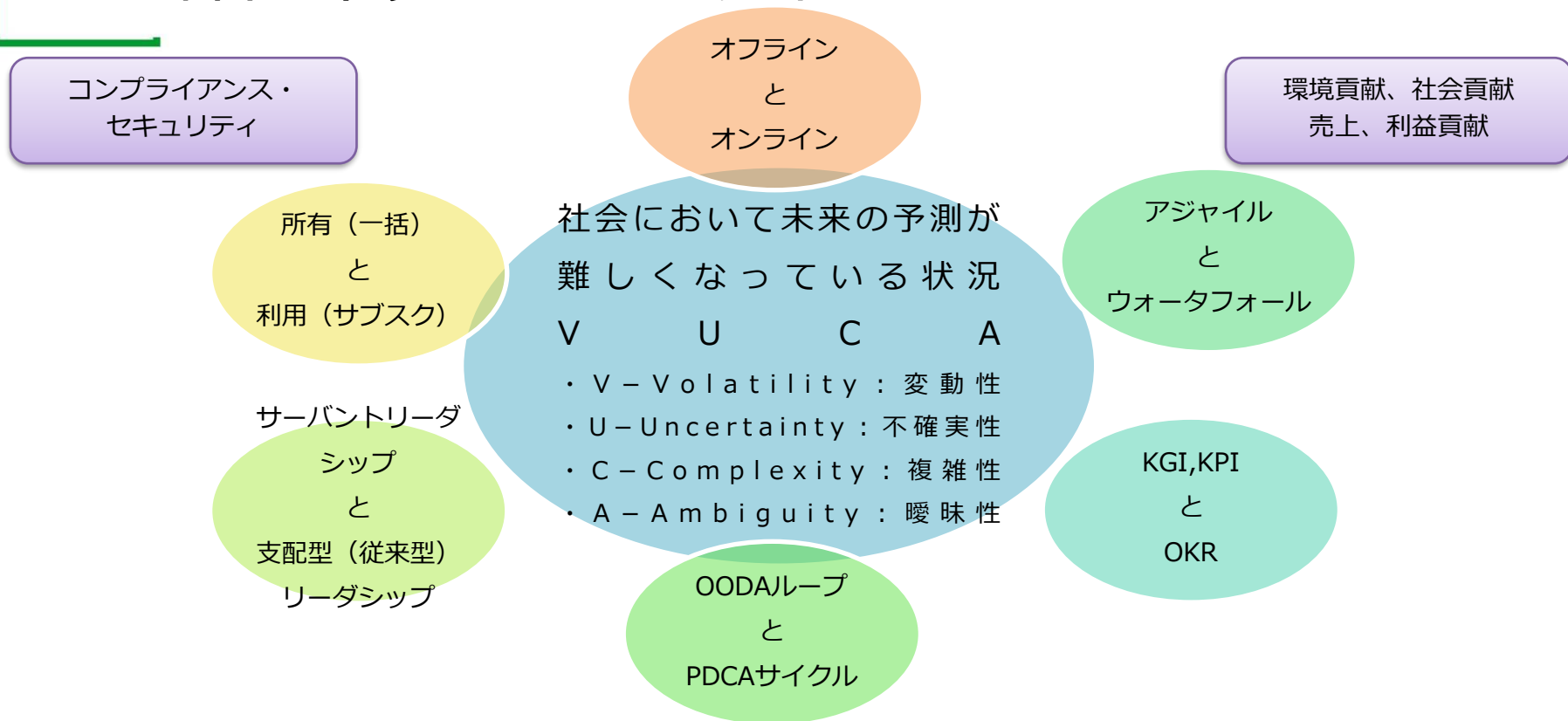
## たとえば —

ニュートンが木から落ちるリンゴをみて万有引力の法則を発見したこと…これもアハ! 体験だと言えるでしょう。人がアハ! 体験をすると、0.1秒ほどの短い時間に、脳の神経細胞がいっせいに活動して、世界の見え方が変わってしまいます。神経細胞がつながりかわって、「一発学習」が完了し、今までと違った自分になってしまうのです。

## わからないで考えている時のうすうすした感じ —

そして、ひらめいた時の「ああ、そうか!」と緊張が解けて、同時に大きなよこびを感じる心の動き。そのような感覚を体験することで、関係する脳の回路を強化することができます。そして、わからなくてもじっくりと考え、ひらめきを育むことの大切さを、楽しみながら学ぶことができるのです。

# お客様環境における変化





# Waha! でのユニバーサルってどういう状態？

「ビジネスに必要なデータをいつでも、どこでも、だれにでも」

人がシステムに入力した  
データ（業務データ、**SNS**）

人／物  
からの  
データ

物から出てきたデータ  
（**IOT**,**センサー**,**OCR**）

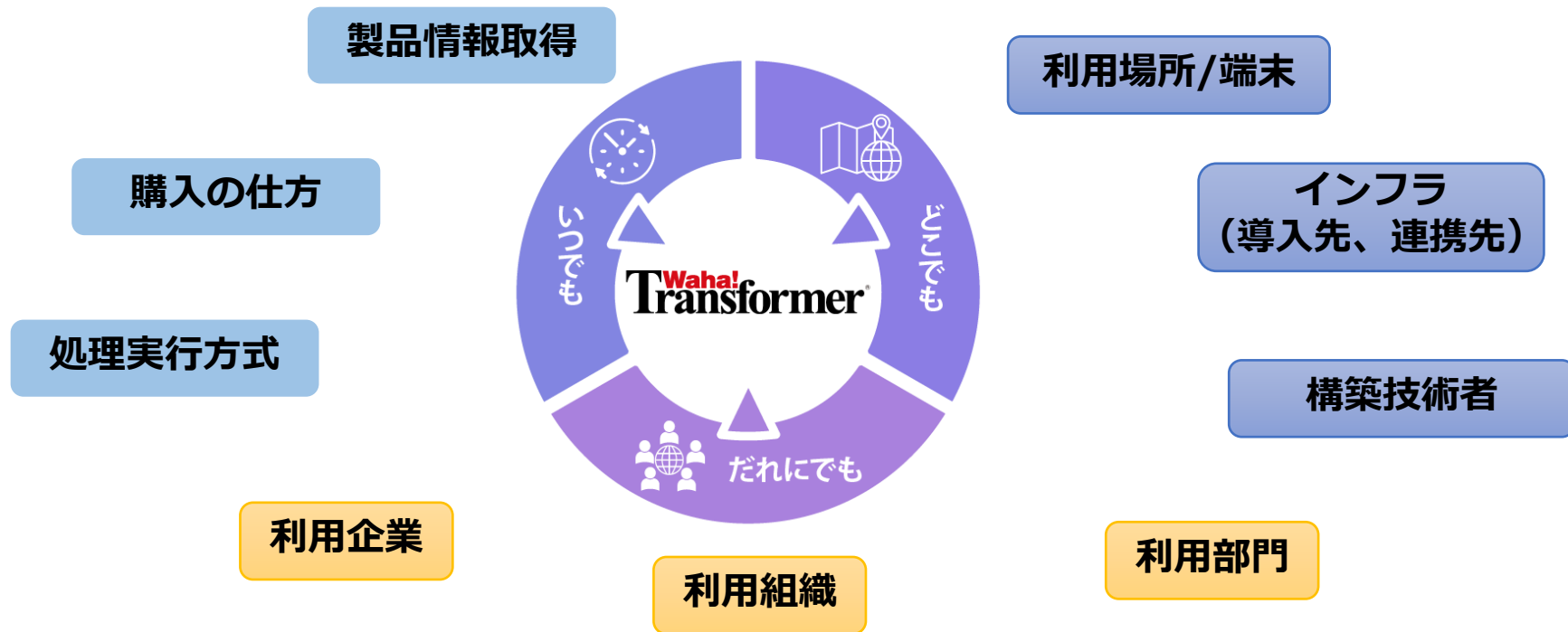
攻めの施策  
データドリブン経営（**BI**,**BA**,**AI**）  
**データ活用ノウハウ販売**

売上向上  
／  
経費削減

守りの施策  
労務改善、作業効率化

# Waha! でのユニバーサルってどういう状態？

「ビジネスに必要なデータをいつでも、どこでも、だれにでも」



# 今後のデータ活用人材は？



①言葉の定義：データ活用人材＝  
ITシステムやデジタル技術を通じてデータを取り扱う人材

①どこに？どのくらい？：データ活用人材は、情報システム部だけでなく事業部・  
間接部門やD X 関連部門に分散はしているが人数は増えていく。



②スキルレベルは？：ITリテラシーについては情報システム部程の汎用的な専門性はない  
が全体平均としては向上してきている。今後も少しずつではあるが向上するだろう。



# Waha!のユニバーサルへのロードマップ

ふんばり

だれにでも

いつでも  
（いつのまにか）

エンタープライズETL : Waha! Transformer

連携先強化、IOT、組合せ商材（クラウドインフラ、パートナー商材）

セルフサービスETL/BI : Waha! Preparation (仮)

Web化によるUI/UX強化、生成型AIによるWahaプログラム自動生成

プラットフォーム化 :

WaaS or WaaP = Waha! as a Service or Platform (仮)

マルチテナント、ビジネス活用

# 今後の方向性 (ユニバーサルでの価値提供イメージ)

ユニリタ以外の企業がデータ変換・加工・公開で  
ビジネスをできるようにしたい。



専門知識のない人が簡単にデータ変換・加工・  
公開の課題を解決したい。

【作るから使うへ】

データ連携とその前後に必ずあるデータ変換・加工  
データ分析のためのデータ整備（変換・加工）等  
データ変換・加工にまつわる様々な課題  
を解決したい。

【簡単に作って共有できるへ】



【大量データを高速に】

【ノーコードで処理が作成】



私の名前は **わはまる** です。  
Waha! Transformerの  
マスコットキャラクターです。

# UNIRITA

## Create Your Business Value

～真のデジタル変革パートナーを目指して、お客様と共に～

Copyright © UNIRITA Inc. All rights reserved.

私の名前は **らくわん** です。  
おしごと改革らぼの  
マスコットキャラクターです。

